

財団法人 日本サッカー協会
平成 22 年度 第 9 回理事会

協議事項

1. ナショナルコーチングスタッフの件																																							
<p style="text-align: center;">(協議) 資料No. 1</p> <p>各カテゴリー日本代表チームコーチングスタッフを別紙の通りとしたい。</p>																																							
2. 大会スケジュール改革プロジェクト（仮称）設置の件																																							
<p>以下の目的のため、プロジェクトチームを編成し、プロジェクトを立ち上げたい。</p> <p><目的></p> <p>FIFA、AFC及び国内競技会（Jリーグ・JFL）カレンダーを検証し、日本代表選手のコンディション（休養期間含）を考慮した中長期的視野に立った国内競技会カレンダーの考察</p> <p><メンバー></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">リーダー</td> <td style="width: 35%;">： 田嶋 幸三</td> <td style="width: 50%;">副会長</td> </tr> <tr> <td>サブリーダー</td> <td>： 中野 幸夫</td> <td>常務理事/Jリーグ専務理事</td> </tr> <tr> <td></td> <td>田中 道博</td> <td>常務理事</td> </tr> <tr> <td>メンバー</td> <td>： 佐々木 一樹</td> <td>理事/Jリーグ常務理事</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原 博実</td> <td>理事</td> </tr> <tr> <td></td> <td>西村 昭宏</td> <td>特任理事</td> </tr> <tr> <td></td> <td>加藤 桂三</td> <td>日本フットボールリーグ専務理事</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中西 大介</td> <td>Jリーグ事務局次長</td> </tr> <tr> <td></td> <td>加賀山 公</td> <td>事業部部長</td> </tr> <tr> <td></td> <td>松田 薫二</td> <td>代表チーム部部長</td> </tr> <tr> <td>幹事</td> <td>： 野仲 賢勝</td> <td>事業部部長代理</td> </tr> <tr> <td></td> <td>湯川 和之</td> <td>代表チーム部部長代理</td> </tr> <tr> <td></td> <td>吉村 政弘</td> <td>事業部部長代理</td> </tr> </table>	リーダー	： 田嶋 幸三	副会長	サブリーダー	： 中野 幸夫	常務理事/Jリーグ専務理事		田中 道博	常務理事	メンバー	： 佐々木 一樹	理事/Jリーグ常務理事		原 博実	理事		西村 昭宏	特任理事		加藤 桂三	日本フットボールリーグ専務理事		中西 大介	Jリーグ事務局次長		加賀山 公	事業部部長		松田 薫二	代表チーム部部長	幹事	： 野仲 賢勝	事業部部長代理		湯川 和之	代表チーム部部長代理		吉村 政弘	事業部部長代理
リーダー	： 田嶋 幸三	副会長																																					
サブリーダー	： 中野 幸夫	常務理事/Jリーグ専務理事																																					
	田中 道博	常務理事																																					
メンバー	： 佐々木 一樹	理事/Jリーグ常務理事																																					
	原 博実	理事																																					
	西村 昭宏	特任理事																																					
	加藤 桂三	日本フットボールリーグ専務理事																																					
	中西 大介	Jリーグ事務局次長																																					
	加賀山 公	事業部部長																																					
	松田 薫二	代表チーム部部長																																					
幹事	： 野仲 賢勝	事業部部長代理																																					
	湯川 和之	代表チーム部部長代理																																					
	吉村 政弘	事業部部長代理																																					
3. 日本人指導者海外派遣の件																																							
<p style="text-align: center;">(協議) 資料No. 2</p> <p>北マリアナ諸島サッカー協会からの要請を受け、アジア貢献事業の一環として、下記指導者との契約を更新したい。</p>																																							

派遣者： 関口 潔（せきぐち きよし）（42歳）
 派遣先協会： 北マリアナ諸島サッカー協会
 資格： 公認A級コーチ（2005年度取得）
 役職： 北マリアナ諸島代表、各年代代表チームの監督および技術委員長
 契約期間： 2011年2月1日～2012年1月31日
 費用負担： [JFA]給与及び傷害保険料
 [北マリアナ諸島協会]住居、自動車、日本-サイパン間の航空券
 略歴： 添付別紙のとおり

4. 各種委員会委員、部会員及びプロジェクトメンバー 選任の件

以下の通り、委員、部会員及びプロジェクトメンバーを選任したい。

【交代】

<国際マッチメイク委員会>

旧) 羽生 英之（はにゅう ひでゆき）／前 特任理事

↓

現) 中西 大介（なかにし だいすけ）／Jリーグ事務局次長

<広報委員会>

旧) 松田 薫二（まつだ くんじ）／前 広報部長

↓

現) 西澤 和剛（にしざわ かずたけ）／現 広報部長

旧) 渡辺 真人（わたなべ まさと）／前 代表チーム部長

↓

現) 松田 薫二（まつだ くんじ）／現 代表チーム部長

<競技会委員会 第1種大会部会>

旧) 羽生 英之（はにゅう ひでゆき）／前 特任理事

↓

現) 中西 大介（なかにし だいすけ）／Jリーグ事務局次長

<天皇杯実施委員会>

旧) 羽生 英之（はにゅう ひでゆき）／前 特任理事

↓

現) 大森 洋次郎（おおもり ようじろう）／

Jリーグリグプロデュースグループ アシスタントマネージャー

<リスペクト・フェアプレープロジェクト>

旧) 羽生 英之 (はにゅう ひでゆき) / 前 特任理事



現) 窪田 慎二 (くぼた しんじ) /

Jリーグリーグマネジメントグループ マネージャー

【追加】

< J F A / Jリーグ将来構想委員会 >

大河 正明 (おおかわ まさあき) / Jリーグ クラブライセンス準備室 室長

5. 公益財団法人移行後の「最初の評議員選任方法」の件

(協議) 資料No. 3

2012年4月1日付で公益財団法人への移行登記完了へ向けて作業を進めているが、移行後の「最初の評議員の選任方法」について別紙資料の通りとしたい。

なお、この選任方法は、文部科学省の指導により、内閣府のモデル通りの方法となっており、理事会ご承認後、正式に文部科学省に申請することとなる。

また、「最初の評議員の選任方法」第1条に規定している「評議員選定委員会」の設置についても、併せてご承認頂きたい。

< 今後のスケジュール >

(1) 3月

① 第11回理事会：「評議員選定委員」の承認

② 47都道府県F Aへ評議員推薦依頼

(2) 4月～6月

① 評議員選定委員会：「移行後、最初の評議員」候補者の選考及び評議員の選任

(3) 6月

① 第1回評議員：選任した評議員の報告

② 第3回理事会：選任した評議員の報告

6. 審判員 表彰の件

西村審判チーム(西村雄一主審、相楽亨副審、名木利幸副審)は、2010FIFAクラブワールドカップU A E大会で、決勝戦及びほか1試合を担当した。この功績は非常に素晴らしいものであり、その榮譽を表彰することとしたい。

7. J F A ロングパイル人工芝ピッチ公認(新規)の件

1. 公認申請者：飛騨市

施設名：飛騨市古川ふれあい広場人工芝グラウンド(岐阜県/飛騨市)

施設所有者： 飛騨市長 井上 久則
 公認期間： 2011年1月13日～2014年1月12日
 公認番号： 第107号

<特記事項>

- ◆モンドターフ NSF (Monofibre 12 60 AE STAR) /クリヤマ(株)は製品検査（ラボテスト）を完了し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。
- ◆公認規程に基づき2回の検査（フィールドテスト）を実施し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。

8. 第35回全日本少年サッカー大会 大会実施要項改定の件

（協議）資料No.4

2010年度4月の理事会にて承認された、JFAが主催するU-12年代競技会の8人制サッカーへの移行に伴い、第35回全日本少年サッカー大会実施要項について、2010年度12月度理事会での協議内容を受け、再度検討を行い、添付案の通り、改定したい。

12月度理事会の内容より修正及び更新するポイントは下記の通り。

① チームエントリー

都道府県大会においては同一加盟チームからの複数チームエントリーを可とする。

決勝大会へは、都道府県大会で優勝したチーム・選手が出場とする。

当該チームの都道府県大会への登録選手数が16名に満たない場合は、「加盟チーム」内の選手から補充することができる。

② 参加選手の変更

参加選手の変更については、傷病を理由とする場合に認められ、申請の際に医師が発行する診断書を添えて提出しなければならない。

また、大会チーム登録以降の選手の追加登録はできない。

③ 審判員

1次ラウンドについては1人の主審と補助審判が指名される。

2次ラウンド、下位ラウンド、決勝トーナメント、下位決勝トーナメントについては1人の主審と2人の副審と第4の審判員が指名される。

9. 2011年度公認S級コーチ養成講習会受講者の件

（協議）資料No.5

2011年度公認S級コーチ養成講習会の受講者を別紙の通りとしたい。

10. 2010年度公認S級コーチ養成講習会判定結果の件

全てのコースを修了し、筆記試験・口頭試験・指導実践・レポート全てにおいて

合格したため、以下の1名を公認S級コーチとして認定したい。

氏名：尹 晶煥 (ユン ジョンファン)

指導チーム：サガン鳥栖

生年月日：1973年2月16日

資格：2008年 AFC Aライセンス

指導歴：2008年 サガン鳥栖U-18 コーチ兼育成部アドバイザー

2009年 サガン鳥栖トップチームコーチ

2010年～ サガン鳥栖トップチームヘッドコーチ

※参考：現S級コーチライセンス保持者数： 329名（上記1名含む）

11. 2011 JリーグU-13 大会概要の件

(協議) 資料No.6

大会概要を別紙資料の通りとしたい。